

# 平成29年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成29年9月21日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,090億円余
2. 前年同月比	3.6% (2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭4.6%(89.0%) : 非店頭-4.1%(11.0%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	843,284㎡ (前年同月比:-4.5%)
6. 総従業員数	18,265人 (前年同月比:-3.9%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 -1.5%、2-4月 -1.3%、3-5月 -0.7%、 4-6月 -0.2%、5-7月 -0.3%、6-8月 1.0%

[参考] 平成28年8月の売上高増減率は-5.9%

### 【特徴】

- (1) 東京地区の入店客数は5.0%増と全国水準を上回る賑わいを見せた。記録的な低温多雨の影響で、遠出の行楽地から近場のレジャー施設に振り替える傾向もあり、各社が趣向を凝らして展開した、アニメ・キャラクターイベント、写真展・物産展や組織顧客向け催事など各種施策には想定以上の反応があった。
- (2) 商品別では、衣料品が3.3%増と22か月ぶりにプラス転換した。売場の部分改装による新規需要喚起もあった他、秋物商品のスタイル提案が好評だった。特に、プロパー商品の動きがよく、婦人服・洋品は22か月ぶりのプラス(1.9%増)で、秋色夏素材の羽織もの等端境商品が好調だった。また、紳士服では特選スーツ、イージーオーダー等高価格帯商品が動き8.9%増と大幅にプラスした。
- (3) 富裕層やインバウンドの市場規模の大きさを背景に、雑貨が全国より3.2ポイント高い14.4%と9か月連続でプラス。引き続き、国内外共に好調な化粧品(23.8%増)と高級腕時計等を中心とした高額商材(美術・宝飾・貴金属:13.3%増)が牽引した。身のまわり品もラグジュアリーブランド等が好調で4.9%増と高い伸びを示した。
- (4) 一方、一部前年外商大口受注の反動等もあり家庭用品が苦戦した他、天候不順で季節商材である日傘・サングラス等のUV関連商品やスポーツ用品も不調であった。また、生鮮食品は不漁不作による価格高騰の影響で4.5%減となった。
- (5) 9月中間段階の商況は、8.2%(9/18)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.5日 (前年同月比 +0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した:14店、②変化なし:2店、③減少した:3店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上 (同上/有効回答数11店舗)  
①増加した:5店、②変化なし:5店、③減少した:1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2017年08月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>109,043,499</b>	<b>100.0</b>	<b>3.6</b>
紳士服・洋品	7,286,037	6.7	8.9
婦人服・洋品	16,664,284	15.3	1.9
子供服・洋品	1,889,674	1.7	7.4
その他衣料品	2,087,842	1.9	-6.4
<b>衣 料 品</b>	<b>27,927,837</b>	<b>25.6</b>	<b>3.3</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,246,557</b>	<b>14.9</b>	<b>4.9</b>
化粧品	12,224,081	11.2	23.8
美術・宝飾・貴金属	8,278,145	7.6	13.3
その他雑貨	5,103,954	4.7	-1.8
<b>雑 貨</b>	<b>25,606,180</b>	<b>23.5</b>	<b>14.4</b>
家 具	1,268,795	1.2	-30.6
家 電	540,723	0.5	-39.3
その他家庭用品	3,190,316	2.9	-8.5
<b>家 庭 用 品</b>	<b>4,999,834</b>	<b>4.6</b>	<b>-19.4</b>
生 鮮 食 品	4,006,313	3.7	-4.5
菓 子	7,782,408	7.1	0.0
惣 菜	6,108,004	5.6	0.0
その他食料品	7,700,082	7.1	2.2
<b>食 料 品</b>	<b>25,596,807</b>	<b>23.5</b>	<b>-0.1</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,278,096</b>	<b>3.0</b>	<b>1.4</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,066,032</b>	<b>1.9</b>	<b>-12.0</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,322,156</b>	<b>3.0</b>	<b>11.7</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。  
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	1,810,036 千円	0.3
従 業 員 数	18,265 人	-3.9
店 舗 面 積	843,284 m <sup>2</sup>	-4.5

営 業 日 数	30.5 日	前年	30.4 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が9か月連続、衣料品が22か月ぶり、身のまわり品が13か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が12か月連続、食料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が29か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、子供服・洋品、その他食料品が2か月ぶり、紳士服・洋品が7か月ぶり、惣菜が14か月ぶり、婦人服・洋品が22か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>3.6</b>	<b>—</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
紳士服・洋品	8.9	0.6	7か月ぶりプラス
婦人服・洋品	1.9	0.3	22か月ぶりプラス
子供服・洋品	7.4	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-6.4	-0.1	4か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>3.3</b>	<b>0.8</b>	<b>22か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>4.9</b>	<b>0.7</b>	<b>13か月ぶりプラス</b>
化粧品	23.8	2.2	29か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	13.3	0.9	4か月連続プラス*
その他雑貨	-1.8	-0.1	4か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>14.4</b>	<b>3.1</b>	<b>9か月連続プラス</b>
家具	-30.6	-0.5	2か月ぶりマイナス
家電	-39.3	-0.3	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-8.5	-0.3	5か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-19.4</b>	<b>-1.1</b>	<b>12か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-4.5	-0.2	18か月連続マイナス*
菓子	-0.0	0.0	2か月連続マイナス*
惣菜	+0.0	0.0	14か月ぶりプラス*
その他食料品	2.2	0.2	2か月ぶりプラス*
<b>食料品</b>	<b>-0.1</b>	<b>0.0</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>1.4</b>	<b>0.0</b>	<b>7か月ぶりプラス</b>
<b>サービス</b>	<b>-12.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>11.7</b>	<b>0.3</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>商品券</b>	<b>0.3</b>	<b>0.0</b>	<b>7か月ぶりプラス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>